

(京都府政記者クラブ，京都市政記者クラブ，京都経済記者クラブ，関西プレスクラブ同時配布)

平成29年12月1日

文化庁メディア芸術祭愛知展 「MECÂNICA（メカニカ）－ 私と私の次なるもの －」の開催

文化庁では、愛知県名古屋市においてメディアアート、映像、ゲーム、アニメーション、マンガ等のメディア芸術作品を総合的に展示・上映する展覧会「MECÂNICA（メカニカ）－ 私と私の次なるもの －」を開催いたしますので、お知らせいたします。

1. 概要

文化庁では、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバル「文化庁メディア芸術祭」を実施しています。

この受賞作品を中心に、優れたメディア芸術作品の鑑賞機会を提供するため、平成14年度から国内の様々な都市において展覧会を開催しています。この度、文化庁メディア芸術祭愛知展として展覧会「MECÂNICA（メカニカ）－ 私と私の次なるもの －」を別紙のとおり開催いたします。

2. 会期等

会期：平成30年1月4日（木）～1月17日（水）10:00～17:00

会場：ナディアパーク（愛知県名古屋市中区栄3-18-1）

入場料：無料

3. 主催等

主催：文化庁

共催：名古屋市，（株）国際デザインセンター，中日新聞社

運営：文化庁メディア芸術祭愛知展運営委員会

4. 問合せ先

文化庁メディア芸術祭愛知展運営委員会事務局

中日新聞社社会事業部内（平日 10:00～18:00）

電話：052-221-0955

公式WEBサイト：www.mediaarts-aichi.com

＜担当＞文化庁地域文化創生本部事務局

暮らしの文化・アートグループ

リーダー 山口 壮八

チーフ 古家 一成，吉岡 李英

〒605-8505 京都市東山区東大路通松原上る

三丁目毘沙門町 43-3

電話：075-330-6731（直通） FAX：075-561-3511

文化庁メディア芸術祭愛知展 「MECÂNICA（メカニカ）－ 私と私の次なるもの－」 開催のご案内

**人間存在さえも超えるかのような、機械の、機械による、機械のための芸術
—— 私たちの知っているメディア芸術はどこへ向かうのでしょうか。**

メディア芸術は、いつも私たちにインスピレーションを与え、クリエイティビティへと導いてくれました。

アーティストが見いだしたアイデアを、エンジニアたちが全力で実装し、それを目にした作り手が、また新たな発想を得る—— 次なる地平へ到達するために、私たちは創造と想像とを繰り返します。一方で、まったく予想もしなかった未来が訪れようとしている可能性に、私たちは畏れつつもワクワクさせられるのです。

かつて夢みた未来を、私たちはいま生きています。メディア芸術とともにある人生は、時に厳しくもこの上なく面白く、楽しい日々です—— 私たちは、変わりゆくものと普遍的なものを見つめながら、いつの日か、メディア芸術そのもののゆくえを見届けるのかもしれません。

メディア芸術の盛んな愛知から本展が問いかけるテーマは『人工知能／人工生命的なるもの』を感じ、考えてみることです。歴代受賞作品を中心とした作品群から、機械や人工生命、人工現実感などによって成り立つ表現に注目し、その時代ごとに変わりゆく価値観を問い直す展示を行います。

プロジェクト「MECÂNICA（メカニカ）」は、名古屋市の中心部に位置する総合的なデザイン・創造の場「ナディアパーク」を舞台に、すぐれた作品表現やトークを通して、メディア芸術の新たな価値や可能性を発見し体験できる2週間になります。



文化庁メディア芸術祭

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において、優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。

平成9年度（1997年）の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。

また、受賞作品を中心に、優れたメディア芸術作品を総合的に紹介する展覧会を国内外で開催しています。

展示作品

2F アトリウム

3F デザインホール

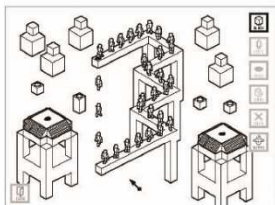
※このスペースは1月8日（月・祝）までの展示となります。
該当作品は公式サイトにて発表いたします。

4F デザインギャラリー

過去20回開催された文化庁メディア芸術祭の受賞作品・審査委員会推薦作品からセレクトした作品を展示



Alter
『Alter』制作チーム
© 2016 Alter developed by Ishiguro Lab. in Osaka Univ.
and Ikegami Lab. In Univ. Tokyo



OLE Coordinate System
藤木 淳
© 藤木 淳



デジタルシャーマン・プロジェクト
市原 えつこ
※展示はイメージです
© Etsuko Ichihara Photo : Masashi Kuroha



エンターテインメントロボット AIBO
『エンターテインメントロボットAIBO』開発チーム
© 1999 Sony Corporation



IS Parade
林 智彦・千房 けん輔・小山 智彦
© KDDI株式会社



機械仕掛けの愛
葉田 良家
© 葉田良家/小学館



最終兵器彼女
高橋 しん
© 高橋しん/小学館



シドニアの騎士
式瓶 勉
© 式瓶勉/講談社



キルラキル
今石 洋之/中島 かずき
© TRIGGER・中島かずき/キルラキル製作委員会



PLUTO
© 浦沢直樹・手塚治虫 長崎尚志プロデュース
監督/手塚 眞 協力/手塚プロダクション (小学館)



鋼の錬金術師
© Hiromu Arakawa/SQUARE ENIX



攻殻機動隊STAND ALONE COMPLEX
© 士郎正宗・Production I.G/講談社・攻殻機動隊製作委員会



メトロポリス
© 手塚プロダクション/METROPOLIS製作委員会

講演・映像上映

4F クリエイティブビジネススペース コード

※予定を含みます

トークセッションⅠ「MECÂNICA《メカニカ》の開催を迎えて」

2018年1月6日(土) 13:00～14:30

出演 関口 敦仁(愛知県立芸術大学教授)
市原えつこ(メディアアーティスト/妄想インベンター)
森山 朋絵(東京都現代美術館学芸員/メディアアートキュレーター) 他
モデレーター 江坂恵里子(ユネスコ・デザイン都市部会や推進事業実行委員会プログラムディレクター)

トークセッションⅡ「ウェルビーイングを考えるーテクノロジーは私たちを幸せにするか」

2018年1月6日(土) 15:00～16:30

出演 ドミニク・チェン(早稲田大学文学部・表象メディア論系准教授)
渡邊 淳司(NTTコミュニケーション科学基礎研究所人間情報研究部主任研究員)
安藤英由樹(大阪大学大学院情報科学研究科准教授)
市原えつこ(メディアアーティスト/妄想インベンター)
モデレーター 森山 朋絵(東京都現代美術館学芸員/メディアアートキュレーター)

トークセッションⅢ「メディアアート考古学ーはじまりの地・名古屋ー」

2018年1月7日(日) 14:00～15:30

出演 森脇 裕之(多摩美術大学教授/ライトアーティスト)
伊藤 尚未(造形作家/メディアアーティスト) 他
モデレーター 杉森 順子(愛知工科大学工学部情報メディア学科准教授/メディアアーティスト)

トークセッションⅣ 第29回人工知能国際会議開催記念フォーラム

「人工知能が社会と芸術を変える」

2018年1月13日(土) 14:00～15:30

出演 伊藤 孝行(名古屋工業大学情報工学科教授/UICAI招致委員会委員長)
高橋 信雄(名古屋工業大学大学院芸術工学研究科教授) 他

トークセッションⅤ 「ヒトを超える芸術ー私と私の次なるものー」

2018年1月14日(日) 14:00～15:30 [事前申込制・定員70名 ※詳しくは公式サイトまで]

出演 中ザワヒデキ(美術家)
石黒 浩(ロボット工学/大阪大学教授/ATR石黒浩特別研究室室長)
池上 高志(東京大学大学院情報学環教授)
モデレーター 森山 朋絵(東京都現代美術館学芸員/メディアアートキュレーター)

国際デジタルアニメーションフェスティバルNAGOYA2018

2018年1月8日(月・祝)

10:30～12:00

・招待作品上映①

「ちえりとチェリ」(第20回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品)54分
「チェブラーシカ 動物園へ行く」18分

解説 栗津 順(映画監督・CGアーティスト)

13:00～17:00

・招待作品上映②国際部門/トークセッション/学生制作作品の上映及び公開論評 など

出演 岩本勇一郎(株式会社スピード代表取締役・プロデューサー・監督) 他

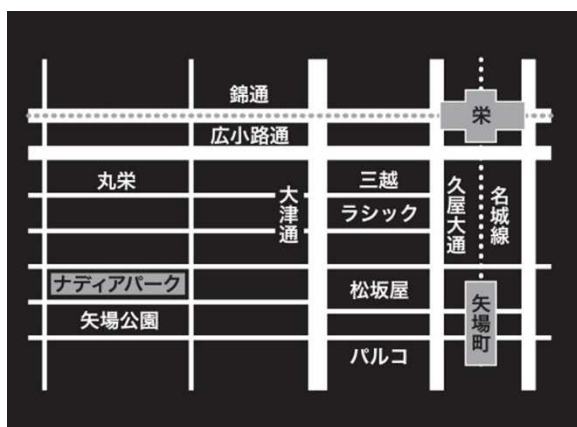
※詳しいスケジュールは公式サイトにて発表いたします。

ヒトを超える、芸術。

開催概要

展覧会名：文化庁メディア芸術祭愛知展「MECÂNICA（メカニカ）－私と私の次なるもの－」
 会 期：2018年1月4日（木）～17日（水）※デザインホールのみ 1月8日（月・祝）まで
 10:00～17:00
 入 料：無 料
 会 場 場：ナディアパーク
 デザインホール／デザインギャラリー／アトリウム／
 クリエイティブビジネススペース コード
 主 催：文化庁
 共 催：名古屋市、（株）国際デザインセンター、中日新聞社
 企画運営：文化庁メディア芸術祭愛知展運営委員会
 協 力：ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会、
 Digital Animation Tube!、（株）グローカライズ・コンテンツ、
 （株）ProjectWhite（TSUKUMO）、LG Electronics Japan（株）

会 場



ナディアパーク／
愛知県名古屋市中区栄3-18-1

問い合わせ

文化庁メディア芸術祭愛知展「メカニカ」運営委員会事務局
 中日新聞社社会事業部内（平日10:00～18:00）
 tel：052-221-0955
 公式サイト：www.mediaarts-aichi.com

展示作品リスト（予定）

	作品名	作家	文化庁メディア芸術祭 受賞・審査委員会推薦作品選定歴	
展示	Alter	『Alter』製作チーム	2017年	アート部門
展示	OLE Coordinate System	藤木 淳	2006年	アート部門
展示	Drone Survival Guide	Ruben PATER	2014年	アート部門
展示	(不)可能な子供、01:朝子とモリガの場合	長谷川 愛	2015年	アート部門
展示	デジタルシャーマン・プロジェクト	市原 えつこ	2017年	エンターテインメント部門
展示	ニンテンドックス	nintendogs開発チーム	2005年	エンターテインメント部門
展示	IS Parade	林智彦 / 千房けん輔 / 小山智彦	2010年	エンターテインメント部門
展示・映像	メトロポリス	りんたろう	2001年	アニメーション部門
展示	攻殻機動隊 STAND ALONE COMPLEX	神山健治	2007年	アニメーション部門
展示	キルラキル	今石 洋之 / 中島 かずき	2014年	アニメーション部門
展示	最終兵器彼女	高橋 しん	2001年	マンガ部門
展示	銅の錬金術師	荒川 弘	2004年	マンガ部門
展示	PLUTO	手塚 治虫 / 浦沢 直樹	2005年	マンガ部門
展示	シドニアの騎士	武瓶 勉	2013年	マンガ部門
展示	機械仕掛けの愛	業田 良家	2015年	マンガ部門
展示・映像	I.Q. 〜インテリジェント・キューブ	株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	1997年	デジタルアート（インタラクティブ部門）
展示	クラスターワークス	祝田 久	1998年	デジタルアート（インタラクティブ部門）
展示	エンターテインメントロボット AIBO	『エンターテインメントロボット AIBO』開発チーム	1999年	デジタルアート（インタラクティブ部門）
展示	シーマン〜禁断のペット〜	斎藤 由多加	1999年	デジタルアート（インタラクティブ部門）
展示	ピクミン	宮本 茂	2001年	デジタルアート（インタラクティブ部門）
展示	WIGGLE「私は私が大好き」	ウイグル総司令本部	1997年	デジタルアート（ノンインタラクティブ部門）
展示	愉快的機械	岸 啓介	1999年	デジタルアート（ノンインタラクティブ部門）
展示	cellroid	藤木 淳	2017年	アート部門
展示	A day in their lives	藤木 淳 / 渡邊淳司 / 安藤英由樹	2015年	歴代受賞者による作品
展示	P055E5510N	藤木 淳	2011年	歴代受賞者による作品

上映作品リスト（予定）

	作品名	作家	文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品	
短期アニメーション	ちえりとチェリー	原作・監督：中村 誠 脚本：島田 満 / 中村 誠	2017年	アニメーション部門
短期アニメーション	チェブラーシカ 動物園へ行く	監督・脚本：中村 誠、 原作・脚本：エドゥアルド・ウスベンスキー、脚本：ミハイル・アルダーシン	2016年	審査委員会推薦作品選定作家